

平成 20 年 5 月 12 日

各 位

シミック株式会社

health クリックで医療に関する患者の理解度について調査実施
～かかりつけ医・薬局の有無により病気や薬の理解度に関き～

当社の子会社である株式会社ヘルスクリック(代表取締役:清水昭、本社:東京都品川区、以下ヘルスクリック)は、同社が運営する健康ポータルサイト『health クリック』(<http://www2.health.ne.jp/>)にて、患者の理解度に関する調査を実施しましたので、その結果をお知らせいたします。

記

『health クリック』は、生活習慣病をはじめとした様々な疾患の予防を目的として、健康一般情報及び疾患に関する情報を提供する、日本で最大級の健康ポータルサイトです(月間 1,100 万ページビュー、ユニークユーザー数 140 万人)。

このたび health クリックサイト上にて、「患者の医師や薬剤師の説明に対する理解度」について調査を実施しました。アンケート回答結果の詳細は、本日より『health クリック』で公開中です。また、その他「健康に関する悩み」や「サプリ・健康食品の利用状況」などのアンケート結果もあわせて公開しています。

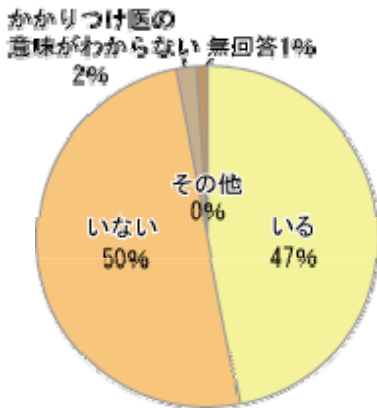
(<http://www2.health.ne.jp/bknumber/20080511.html>)

実施期間 : 2008 年 3 月 3 日～2008 年 3 月 30 日

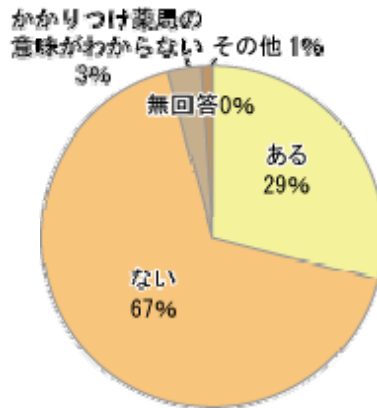
回答者数 : 346 名 (男性 106 名・女性 233 名・性別無回答 7 名)

年 代 : ~20 代/49 名、30 代/79 名、40 代/105 名、50 代/57 名、60 代/35 名
70 代~/6 名、年代無回答 15 名

■ かかりつけ医がいますか？



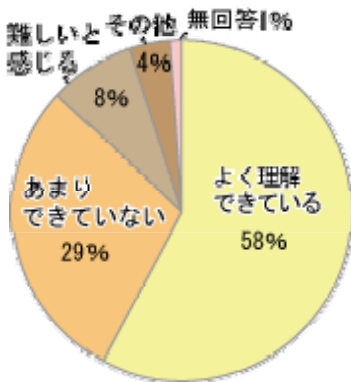
■ かかりつけ薬局がありますか？



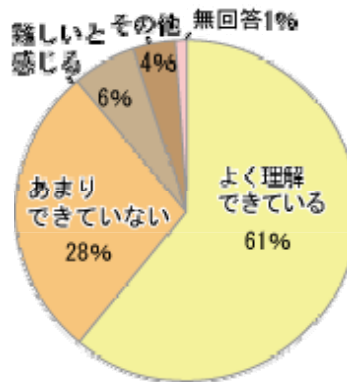
かかりつけ医の有無を聞いたところ、「いる」(47%)、「いない」(50%)、「かかりつけ医の意味が分からない」(2%)という結果となった。年代別でみると20代(27%)、30代(41%)、40代(44%)、50代(65%)、60代(71%)、70代(100%)と、加齢にともないかかりつけ医を持つ人の割合が増えていることが分かる。

一方、かかりつけ薬局の有無を聞いたところ、「ある」(29%)、「ない」(67%)、「かかりつけ薬局の意味が分からない」(3%)と、かかりつけ薬局を持つ人の割合はかかりつけ医よりさらに低い結果となっている。

■ 医師の説明を理解できていますか？



■ 薬剤師の説明を理解できていますか？



病気に関する医師の説明を理解できているかを聞いたところ、「よく理解できている」(58%)、「あまり理解できていない」(29%)、「難しいと感じる」(8%)と、約3人に1人が理解不足という結果となった。

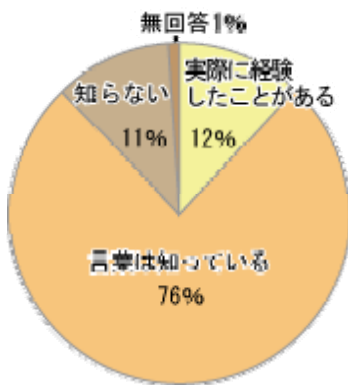
詳細を見ると、かかりつけ医を持つ人の「よく理解できている」は78%、かかりつけ医がいない人の「よく理解できている」は46%と、慣れ親しんだ医師のいる人の方が病気に関する説明への理解度が高いことが分かる。

これは医師と患者とのコミュニケーションの構築によって、患者が質問しやすい環境となり、医師もその患者個々に合わせた理解しやすい説明や言葉選びができるのではないかと

と思われる。

また、薬に関する薬剤師の説明を理解できているかを聞いたところ、「よく理解できている」(61%)、「あまり理解できていない」(28%)、「難しいと感じる」(6%)と、こちらも3人に1人が理解不足という結果に。詳細では、かかりつけ薬局がある人の「よく理解できている」は76%、かかりつけ薬局が無い人の「よく理解できている」は60%と、身近な薬局を持つ人の方が薬に関する説明への理解度が高い結果となっている。

■「セカンドオピニオン」という言葉を知っていますか？



セカンドオピニオンを知っているか聞いたところ、「言葉は知っている」(76%)「知らない」(11%)、「実際に経験したことがある」(12%)という結果となった。

医師から治療方針などについて説明を受けても、理解や納得ができない場合に第三者（医師）の意見を聞くセカンドオピニオンという制度があるが、実際に経験した人は1割強で、その言葉自体知らないという人も1割強いることが分かった。

今回の調査において、かかりつけ医・かかりつけ薬局の有無により、医師や薬剤師の説明の理解度に大きな開きがでた。かかりつけ医やかかりつけ薬局を持ち、良好なコミュニケーションによって患者と医療従事者との間に信頼関係を構築し、患者が病気や薬に関する理解を深めることは、「患者中心の医療」の実現にも一歩近づくと考えられる。

今後も『health クリック』では引き続き、健康を追求する一般消費者の皆様には正しい情報・知識を普及させるべく、健康関連産業が有する優良なヘルスケアコンテンツを集約し、ユーザの役に立つ幅広いコンテンツメニューを取り揃えてまいります。

以 上

【「医療に関する意識調査」に関するお問い合わせ】

株式会社ヘルスクリック 担当 八木・三上 03-5745-6505

【シミック株式会社】



日本初のCRO(医薬品開発受託機関)として、モニタリングやデータマネージメント業務、被験者募集や臨床試験コーディネーター業務等、医薬品開発の周辺業務の支援を行ってまいりました。開発から製造、販売まで、製薬企業の医薬品事業をフルサポートする体制を整え、PVC (Pharmaceutical Value Creator)として製薬企業の価値最大化に取り組んでいます。また、日本だけではなくアジア(中国・韓国・シンガポール・台湾)、ブラジル、米国に拠点を構え、幅広く業務を展開しています。詳細はホームページをご覧ください。<http://www.cmic.co.jp/>

【株式会社ヘルスクリック】



株式会社NTTデータとの合弁会社として平成15年6月に設立しました。主に、疾病啓発活動(特に「healthクリック」を用いた活動)、疾患に関する意識調査/行動変容調査、病診連携支援システム「連携くん®」の販売・開発、臨床試験の被験者募集業務、24時間健康コールセンターの運営等を行っています。平成19年4月、PCN株式会社から株式会社ヘルスクリックへ商号変更しました。詳細はホームページをご覧ください。<http://www.healthclick.co.jp/>
